

科目ナンバー	(JE) LAN181J
科目名	日本語4 (総合)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	3単位
授業数	週3回

### 1. 授業の概要・到達目標

#### 【授業の概要】

この授業は、初級レベルの学習が終わった学習者が勉強するクラスです。初級で学んだ文法や語彙・漢字を正しく使えること、そして、日本語の「読む・書く・話す・聞く」力をバランスよく高め、自信を持って日本語でコミュニケーションできることを目指します。また、教科書は『上級へのとびら』で、日本文化や社会がテーマになっていますので、授業では日本文化と自分の文化を比較し、違いを述べたり、自分の文化について説明したりします。日本語の知識や文法を学ぶだけではなく、日本文化や同じクラスの留学生の国や文化についても学び、自分の意見や感想を伝えられるように取り組みましょう。授業は、日本語で行い、3人の教員が担当します。

#### 【到達目標】

1. 日本や日本文化について書かれた文章を読んで、理解することができる。
2. 自分の国についてまとめて話したり、日本と比較し、違いや自分の考えをまとめて話すことができる。
3. 教科書で学んだ語彙・漢字や文法を、理解し、使うことができる。また、初級レベルの語彙・漢字・文法の間違いを自分で直して、使えるようになる。

### 2. 授業内容

#### 【授業の進め方 (予定)】

第1回：a. イントロダクション (授業についての説明) / b. 第1課『日本の地理』

第2-6回：第1課『日本の地理』

第7-13回：第2課『日本語のスピーチスタイル』

第14回：復習

第15回：a. 復習テスト (第1回) / b. 第3課『日本のテクノロジー』

第16-17回：第3課『日本のテクノロジー』

第18回：フィールドワーク

第19-21回：第3課『日本のテクノロジー』

第22-27回：第4課『日本のスポーツ』

第28回：復習

第29回：a. 復習テスト (第2回) / 第5課『日本の食べ物』

第30-33回：第5課『日本の食べ物』

第34-39回：第6課『日本人と宗教』

第40回：a. 復習テスト (第3回) / b. クラス活動

第41-42回：クラス活動 / 振り返り

◆授業のスケジュールは、第1回目のイントロダクションで説明します。

### 3. 履修上の注意

- ・この科目はプレースメントテストの結果、日本語4レベルにプレースされた人が履修できます。
- ・週3回の授業すべてに出席しなければなりません。

### 4. 準備学習 (予習・復習等) の内容

◆授業がよくわかるように、予習と復習をしてください。

◆予習と復習は30分~1時間くらい必要です。

・予習：進行表を見て、学習内容のページの単語の意味や読み方を調べる。

教科書の文法の説明と例文を読む、小テストの準備をする。

・復習：宿題をする。その日に勉強した文法や語彙をもう一度勉強する。

◆『上級へのとびら』のWEBサイトには、オンラインで勉強できる無料コンテンツがあります。コンテンツを使って、自分で勉強しましょう。

上級へのとびらサイト：<http://tobiraweb.9640.jp/>

### 5. 教科書

◆『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら』、岡まゆみ 他著、(くろしお出版)

978-4-87424-447-0 C0081, 3,630円 (税込み)

### 6. 参考書

・授業の時、紹介します。

・教科書といっしょに勉強できるワークブックもあります。

○『上級へのとびら きたえよう漢字力 上級へつなげる基礎漢字800』, 岡まゆみ監修, くろしお出版

978-4-87424-487-6 C0081, 2,420円(税込)

○『上級へのとびら これで身につく文法力』, 筒井通雄監修, くろしお出版

978-4-87424-570-5 C0081, 2,420円(税込)

## 7. 課題に対するフィードバックの方法

・クイズ、宿題、テスト等のフィードバックは、実施方法によって、Oh-o!meiji を使ったり、授業中にフィードバックをしたりします。

## 8. 成績評価の方法

◆評価対象と割合 (Grading and Evaluation)

・復習テスト<3回>60%

・平常点<小テスト, 課題の提出, 授業への取り組み> 40%

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

## 9. その他

◆授業では、生活のためのコミュニケーション能力だけでなく、大学で勉強するための読解能力や語彙・表現能力なども勉強します。

◆日本語能力試験 (JLPT) にもチャレンジしましょう。

◆授業のスケジュールや内容は、学生の人数や興味関心などで変わることがあります。

◆この授業では、フィールドワークやその準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN181J
科目名	日本語4-1 (読解)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

## 1. 授業の概要・到達目標

### 【授業の概要】

中級レベルの受講生を対象とした読解を中心とした授業です。教科書『読解厳選テーマ25+10[初中級]』には様々なタイプの読み物が入っています。外国人の日本での生活経験と感想・意見、行事（コミックマーケット、バレンタインデーなど）、習慣（握り寿司のしょうゆのつけ方など）などをはじめ、日本でよく知られている人物の紹介、昔話などがあります。さらに、4コマ漫画やクロスワードパズルなどもあります。それぞれの読み物には「話そう、考えよう」という課題もあります。読み物を読み、理解し、感想、考えをクラスで交換します。読み物のトピックについて、読み物に出てきた言葉、表現を使って、自国ではどのようにしているのか、紹介します。このような活動を通して、新しい言葉や表現を覚え、適切に使えるようになります。読み物ごとに読み物に出てきた言葉や表現の小テストがあります。

### 【到達目標】

読み物から日本の社会、文化、歴史を知りましょう。そして、読むことを楽しみましょう。  
短い文章（400～600字）を数多く読み、知らない単語が出てきても、文脈から推測できるようになります。  
読み物に関する感想、意見はもちろん、日常生活での体験、関心のあることについて、考えたこと、感想などを伝えることができる日本語力をつけましょう。また、他の人に、意見や感想を聞いたり、質問したりできるようになります。

## 2. 授業内容

- 第1回：イントロダクション 読み物 (1)
- 第2回：読み物 (1)
- 第3回：読み物 (2) 小テスト
- 第4回：読み物 (2)
- 第5回：読み物 (3) 小テスト
- 第6回：読み物 (3)
- 第7回：読み物 (4) 小テスト
- 第8回：読み物 (4)
- 第9回：読み物 (5) 小テスト
- 第10回：読み物 (5)
- 第11回：読み物 (6) 小テスト
- 第12回：読み物 (6)
- 第13回：読み物 (7) 小テスト
- 第14回：読み物 (7) 振り返り

## 3. 履修上の注意

この科目はプレースメントテストの結果、日本語4レベルにプレースされた人が履修できます。

## 4. 準備学習（予習・復習等）の内容

予習として、読み物の背景知識を得るため、読み物に関連した課題、例えば情報収集などがあります。  
宿題として、読んだ後で、読み物に関する内容理解の質問に答える、意見・感想を文章で書く、という課題があります。  
復習として、読み物に出てきた言葉、表現の復習小テストがあります。

## 5. 教科書

『読解厳選テーマ別25+10[初中級]』 清水正幸、下郡麻子、沖中晃子著（凡人社）2200円＋税

## 6. 参考書

授業時に必要に応じて紹介します。

## 7. 課題に対するフィードバックの方法

授業時にフィードバックを行います。  
小テストは、実施した後、すぐに答え合わせをします。  
書く課題は、個別に添削をして、コメントをつけて返却します。  
話す課題は、授業内にコメントをします。

## 8. 成績評価の方法

課題の達成度 40%

小テスト 40%

平常点：授業への参加度、貢献度 20%

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

## 9. その他

・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。

・この授業では、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN181J
科目名	日本語4-2 (読解・漢字)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

## 1. 授業の概要・到達目標

### 【概要】

初中級の学生を対象として、漢字の読み書きを練習します。中級レベルの漢字学習に加え、既習である初級レベルの漢字も復習し、確実に身につけることを目指します。大学での勉強に必要な日本語読解力や作文力を伸ばすためには漢字の運用能力は欠かせません。「読む」「書く」ことを中心に学びますが、漢字の語彙を増やすことにより、他の技能「話す」「聞く」ための能力も伸ばし、総合的に日本語運用力の向上を目指します。

### 【到達目標】

- 比較短的説明文や簡単な資料を読む際に必要な漢字が読める。
- 事実や自分の考えを比較短的短文で書く際に必要な漢字が書ける。
- 事実や自分の考えを述べるのに必要な語彙を身につける。

## 2. 授業内容

- 第1回：イントロダクション、漢字既習度についてのチェック
- 第2回：テキスト23課の練習
- 第3回：テキスト24課の練習
- 第4回：テキスト23課と24課の小テスト、テキスト25課の練習
- 第5回：テキスト26課の練習
- 第6回：テキスト25課と26課の小テスト、テキスト27課の練習
- 第7回：a：テキスト23～27課のまとめ、b：中間試験
- 第8回：中間試験の正答解説、テキスト28課の練習
- 第9回：テキスト29課の練習
- 第10回：テキスト28課と29課の小テスト、テキスト30課の練習
- 第11回：テキスト31課の練習
- 第12回：テキスト30課と31課の小テスト、テキスト32課の練習
- 第13回：テキスト32課の小テスト、テキスト33課の練習
- 第14回：a：期末試験、b：期末試験の正答解説と講義全体のふりかえり

## 3. 履修上の注意

- この科目はプレースメントテストの結果、日本語4レベルにプレースされた人が履修できます。

## 4. 準備学習（予習・復習等）の内容

各課の「この課で覚えることば」にある漢字は、授業で練習する前に必ず意味と書き順を調べてください。また、授業では、読み物を読み、作文も書きます。作文が書き終わらない場合には、宿題になることもあります。宿題は必ずしてください。

## 5. 教科書

『BASIC KANJI WORKBOOK 使って、身につく 漢字×語彙2』、(凡人社)、清水百合他著 ISBN : 978-4-89358-756-5

## 6. 参考書

『【新版】BASIC KANJI BOOK 一基本漢字 500— Vol.2』、(凡人社)、加納千恵子他著 ISBN : 978-4-89358-883-8

## 7. 課題に対するフィードバックの方法

- 第8回の授業中に中間試験の正答解説、第14回のbモジュールで期末試験の正答解説を行います。
- 作文の解説は、翌週の授業で行います。

## 8. 成績評価の方法

小テストと課題 (30%)、中間試験 (20%)、期末試験 (20%)、平常点 (クラス活動への積極的参加) (30%)

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

## 9. その他

- ・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ・この授業では、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE)LAN181J
科目名	日本語4 (口頭表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

### 1. 授業の概要・到達目標

#### 【概要】

この授業は中級前半レベルの学生を対象とし、中級レベルの口頭表現力を伸ばします。特に大学での勉学に必要なプレゼンテーションやディスカッションの基本技能の習得を目標とします。

#### 【到達目標】

1. 日常的な話題について、状況や場面に応じた会話ができる。
2. 相手の言うことを正確に聞き取り、簡単に説明したり、意見を述べたりできる。
3. 自身の興味、関心のあるトピックについて準備をして、簡単なスピーチを行い、質問をしたり答えたりできる。

### 2. 授業内容

第1回：イントロダクション・レベルチェックなど

第2回：いろいろな質問

第3回：話しことばと書きことば

第4回：依頼表現

第5回：許可求め

第6回：敬語を使ってみよう①

第7回：敬語を使ってみよう②

第8回：縮約形

第9回：カジュアル会話①

第10回：カジュアル会話②

第11回：スピーチ説明と準備

第12回：スピーチ①

第13回：スピーチ②

第14回：まとめ・コースの振り返り

### 3. 履修上の注意

- ・この科目はプレースメントテストの結果、日本語4レベルにプレースされた人が履修できます。
- ・ペアワークやグループワークをたくさん行い、日本人と交流しながら学ぶ「ゲストセッション」も取り入れます。
- ・クラスメートとよく協力して授業に参加してください。特別な理由がない限り、休まないでください。

### 4. 準備学習（予習・復習等）の内容

- ・日ごろから日本語で考え、話すように心がけてください。
- ・予習の内容は、回によって異なるので授業の中で具体的に指示します。
- ・復習として、授業で学んだ語彙・表現・発音などの確認をすることを求めます。

### 5. 教科書

- ・教科書はありません。プリント教材を配布するので、配布物を保存するファイルを用意してください。

### 6. 参考書

- ・授業時に必要に応じて紹介します。

### 7. 課題に対するフィードバックの方法

- ・宿題などの課題はOh-o! Meijiと教室でのフィードバックの両方を行いますので、各課題のフィードバック方法は、課題提出時に説明します。

### 8. 成績評価の方法

- ・平常点（授業への取り組み・宿題）…60% 課題（発表・プレゼンテーションなど）…40%により総合的に評価します。
- 試験は実施しません。
- ・この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

### 9. その他

- ・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ・この授業では「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN181J
科目名	日本語4 (文章表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

### 1. 授業の概要・到達目標

#### 【授業の概要】

- ・初級文型の学習を終えたレベルの学生が対象です。
- ・自分自身のことや自分に関係のある話題（自分の国、習慣、文化、興味のあることなど）について、初級で学んだ「言葉」や「表現・文法」を使って文章を書きます。

まず、話しことばと書きことばの違いを学びます。それから、わかりやすい構成の説明文や、意見文を書きます。

#### 【到達目標】

1. 日本語で、自分自身のことや、自分に関係のある話題について 400~600字の作文が書ける。
2. 初級で学んだ「言葉」や「表現・文法」を使って、文章の構成や文体が整った作文が書ける。
3. 自分の意見や感想を理由とともに述べたり、また、事実や情報をまとめて述べた作文を書くことができる。

### 2. 授業内容

- 第1回： イントロダクション、短い作文を書く
- 第2回： メールの書き方
- 第3回： テーマ①文体と書きことば 練習
- 第4回： テーマ①文体と書きことば アイディア整理／作文のルール1
- 第5回： テーマ①文体と書きことば フィードバック／書き直し
- 第6回： テーマ②説明文 アイディア整理／作文のルール2
- 第7回： テーマ②説明文 フィードバック／書き直し
- 第8回： テーマ③順番に説明する アイディア整理／作文のルール3
- 第9回： テーマ③順番に説明する フィードバック／書き直し
- 第10回： テーマ④比較して書く アイディア整理／作文のルール4
- 第11回： テーマ④比較して書く フィードバック／書き直し
- 第12回： テーマ⑤論理的に書く アイディア整理／作文のルール5
- 第13回： テーマ⑤論理的に書く フィードバック／書き直し
- 第14回： 作文の発表、まとめ

### 3. 履修上の注意

- ・作文を書く宿題があります。作文の提出日を守ってください。
- ・この科目はプレースメントテストの結果、日本語4レベルにプレースされた人が履修できます。

### 4. 準備学習（予習・復習等）の内容

- ・作文を書いた後は、フィードバックをしっかりと見て書き直してください。
- ・フィードバックや、自分が書いた作文のデータはしっかりと管理してください。

### 5. 教科書

- ・プリントをくばります。

### 6. 参考書

- ・『おしゃべりしながら書くことを楽しむ中級作文』, (凡人社), 杉浦千里・木戸光子 ISBN987-4-89358-978-1
- ・『中級日本語学習者対象 小論文への12のステップ』, (スリーエーネットワーク), 友松悦子 ISBN978-4883194889
- ・『大学・大学院留学生の日本語②作文編』, (アルク), アカデミック・ジャパニーズ研究会 ISBN978-4757426320

### 7. 課題に対するフィードバックの方法

- ・授業内での説明および oh-h!meiji を使ってフィードバックを行います。
- ・各課題のフィードバック方法は課題提示時に説明します。



## 8. 成績評価の方法

- ・ 平常点（授業への取り組み） 20%
- ・ 提出物、作文 80%

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

## 9. その他

- ・ 授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ・ この授業では、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN181J
科目名	日本語5 (総合)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	3単位
授業数	週3回

## 1. 授業の概要・到達目標

### 【授業の概要】

この授業は、中級レベルの日本語を学ぶ学生を対象としています。これまで学んできた文法や語彙を適切に使い、さらにより高度な日本語を理解し、使い、自ら学びつづけられような力を養います。日本社会や文化、世界的な問題をテーマとした教科書(『上級へのとびら』の後半部分)を使って、日本語の運用能力、および、より一般的・専門的な語彙や中級レベルの文法の運用力を総合的に高めます。授業ではテーマに沿ったディスカッションや発表なども行います。積極的に自分の意見を述べ、これまで学んだ日本語を自信をもって活用できるように取り組んでください。また、日本語学習に取り組むだけではなく、日本文化・社会、そして同じクラスの留学生の国や文化・社会に興味を持ち、多様な文化や社会に関する知識も深めください。授業は日本語で行い、3人の教員が担当します。

### 【到達目標】

1. 日本文化や日本社会・国際社会について書かれた長い文章を読んで、理解することができる。
2. 読んだ内容について自分の国や文化と比較しながら、自分の考えを話すことができる。
3. N3～2レベルの語彙や文法を学び、理解し、適切に使うことができる。また、自分の語彙や文法の間違いを自分で直せる。

## 2. 授業内容

### 【授業の進め方(予定)】

第1回：a. イントロダクション(授業についての説明) / b. 第8課『日本の伝統芸能』

第2-6回：第8課『日本の伝統芸能』

第7-11回：第9課『日本の教育』

第12回：復習

第13回：a. 復習テスト(第1回) / b. クラス活動

第14-17回：第10課『日本の便利な店』

第18回：フィールドワーク

第19-20回：第10課『日本の便利な店』

第21-26回：第11課『日本の歴史』

第27回：a. 復習テスト(第2回) / b. クラス活動

第28-33回：第13課『日本人と自然』

第34-40回：第15課『世界と私の国の未来』

第41回：a. 復習テスト(第3回) / b. 総復習

第42回：ふりかえり/クラス活動

◆授業の詳しいスケジュールは、第1回目のイントロダクションで説明します。

## 3. 履修上の注意

- ・この科目はプレースメントテストの結果、日本語5レベルにプレースされた人が履修できます。
- ・週3回の授業すべてに出席しなければなりません。

## 4. 準備学習(予習・復習等)の内容

- ◆効果的に学習を進めるために、予習復習を十分に行ってください。
  - ◆予習：毎回30分～1時間 進行表を見て、学習内容のページの単語の意味や読み方を調べる。重要表現、文法・語彙練習の説明と例文を読む。小テストの準備をする。
  - ◆復習：毎回30分～1時間 その回に指示された宿題や文法プリントの記入。学習項目の整理。
  - ◆教科書付属のWEBサイト上の教材を活用し、自律的に学習を進めてください。
- 上級へのとびらサイト：<http://tobiraweb.9640.jp/>

## 5. 教科書

- ◆『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら』、岡まゆみ 他著、(くろしお出版) 978-4-87424-447-0 C0081, 3,630円(税込み)

## 6. 参考書

- 必要があれば、授業の時に紹介します。
- 教科書には副教材もあります。こちらも参考にしてください。
- 『上級へのとびら きたえよう漢字力 上級へつなげる基礎漢字800』、岡まゆみ監修、(くろしお出版) 978-4-87424-487-6 C0081, 2,420円(税込)

○『上級へのとびら これに身につく文法力』, 筒井通雄監修, (くろしお出版)  
978-4-87424-570-5 C0081, 2,420円(税込)

## 7. 課題に対するフィードバックの方法

クイズ、宿題、テスト等のフィードバックは、実施方法によって、Oh-o!meiji上もしくは、授業中のフィードバックを行います。

## 8. 成績評価の方法

### ◆評価対象と割合

- ・復習テスト(3回) 60%
- ・平常点(小テスト、課題の提出、授業への取り組み) 40%

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

## 9. その他

- ◆授業では、日常的なコミュニケーション能力だけでなく、大学での勉学に必要な読解能力や語彙・表現能力などを重視します。
- ◆より高いレベルの日本語能力試験の受験・合格も目指しましょう。
- ◆授業のスケジュールおよび内容は、学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ◆この授業では、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN181J
科目名	日本語5 (読解)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
<p><b>1. 授業の概要・到達目標</b></p> <p>【授業の概要】          本クラスは、中級前半の学生を対象にし、日本語学習の中でも特に「読んで理解する(=読解)」にフォーカスします。読解力をあげるためには、漢字・語彙・文法表現などの学習だけでなく、文章に表れている書き手の意図やメッセージを読み取り、理解する力も必要です。クラスではいろいろなタイプの日本語の文章を読みながら漢字・語彙・文法表現などを学習し、さらに文中の含意を読み取り、確認し合います。</p> <p>【到達目標】          生活の場面で必要な日本語の「読み」からアカデミックな文章の「読解」までと、読み物のレベルをアップしていき、中級後半、そして上級へとつながる読解力の向上を目指します。</p> <p>Can-do : 大まかなアウトラインを読み取ったり、筆者の主張を読み取ることができる。</p>	
<p><b>2. 授業内容</b></p> <p>第1回: イントロダクション          第2回: 最新の記事を読む(1)・コメントする - やさしい日本語ニュース → オリジナル記事を読んでいく          第3回: 最新の記事を読む(2)・コメントする - 最新記事の見出しから関心のある記事を選び、さらに読んでいく          第4回: いろいろな読み物 - 読解教材(中級)からトピックを選定し、読み取っていく          第5回: 最新の記事を読む(3)・コメントする - やさしい日本語ニュース → オリジナル記事を読んでいく          第6回: 最新の記事を読む(4)・コメントする - 最新記事の見出しから関心のある記事を選び、さらに読んでいく          第7回: いろいろな読み物 - 読解教材(中級)からトピックを選定し、読み取っていく          第8回: 日本の小説を読む・コメントする          第9回: 日本の小説を読む・コメントする          第10回: 最新の記事を読む(5)・コメントする - やさしい日本語ニュース → オリジナル記事を読んでいく          第11回: 最新の記事を読む(6)・コメントする - 最新記事の見出しから関心のある記事を選び、さらに読んでいく          第12回: 学生が選ぶ読み物          第13回: 学生が選ぶ読み物          第14回: 期末試験/全体のまとめ</p>	
<p><b>3. 履修上の注意</b></p> <p>「講義を受ける」だけの受け身の授業ではありません。疑問や質問などがある場合は積極的に発言してください。また、先生やクラスメンバーとは違う意見を持っている時、自分の考えをはっきり表わすこともこのクラスでは大切です。</p> <p>クラスでは自由に辞書が使えます。辞書を持ってきてください。</p> <p>・この科目はプレースメントテストの結果、日本語5レベルにプレースされた人が履修できます。</p>	
<p><b>4. 準備学習(予習・復習等)の内容</b></p> <p>予習・復習は授業内に指示を出します。</p> <p>各読み物の読解が終わった後は、本文要約及び内容への感想・意見を作成する課題が出ます。約30分~1時間かかります。</p>	
<p><b>5. 教科書</b></p> <p>ハンドアウトを配布します。</p>	
<p><b>6. 参考書</b></p> <p>開講時に案内します。</p>	
<p><b>7. 課題に対するフィードバックの方法</b></p> <p>各課題のフィードバックは、実施後、授業内で行います。</p>	
<p><b>8. 成績評価の方法</b></p> <p>読み物ごとの小テスト及び課題(50%)、期末試験(30%)、授業への参加度および平常点(20%)により評価します。</p> <p>※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。</p>	

## 9. その他

- ・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ・この授業では、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN181J
科目名	日本語5 (口頭表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

### 1. 授業の概要・到達目標

#### 【授業の概要】

中級前半レベルの学生を対象として、口頭表現力の向上を目指します。身近な話題、自分の専門分野や興味のある話題について、スピーチをします。また、日本人学生に参加してもらい、インタビューやディスカッションなど、実践的な会話の練習をします。

#### 【到達目標】

- 一般的な話題や自分の専門分野等について、準備をして、事実や意見とその理由等を、まとまりのある談話で話すことができる
- 発話をモニタリング、修正しながら日常的な会話ができる。

### 2. 授業内容

第1回：イントロダクション、

ユニット1「自己紹介」内容と表現を考える

第2回：ユニット1「自己紹介」実践と振り返り

第3回：ユニット2「インタビュー」内容を決めて練習する

第4回：ユニット2「インタビュー」実践と振り返り

第5回：ユニット3「スピーチ1（意見を言う）」テーマと表現を考える

第6回：ユニット3「スピーチ1（意見を言う）」原稿を作り、練習する

第7回：ユニット3「スピーチ1（意見を言う）」原稿を作り、練習する

第8回：ユニット3「スピーチ1（意見を言う）」実践と振り返り

第9回：ユニット4「スピーチ2（調べたことを紹介する）」テーマと表現を考える

第10回：ユニット4「スピーチ2（調べたことを紹介する）」原稿を作り、練習する

第11回：ユニット4「スピーチ2（調べたことを紹介する）」実践と振り返り

第12回：ユニット5「ディスカッション」テーマと表現を考える

第13回：ユニット5「ディスカッション」実践

第14回：ユニット5「ディスカッション」実践と振り返り

### 3. 履修上の注意

- 自分の発話をスマートフォンなどで録画して、振り返る課題を課します。
- 日本人学生の参加を複数回予定しています。初対面の人と話すことが多くなるかもしれませんが、積極的に参加してください。
- この科目はプレースメントテストの結果、日本語5レベルにプレースされた人が履修できます。

### 4. 準備学習（予習・復習等）の内容

次回の準備のための課題と、発話を振り返る課題を出します。

- 準備：インタビューやスピーチなどの原稿を作成したり、読む練習をしたりする。
- 振り返り：実践時の動画を見て、振り返りシートを書く。

### 5. 教科書

『中級 日本語で挑戦！ スピーチ&ディスカッション』、黒崎典子 編著、(凡人社) ISBN 978-4-89358-843-2

### 6. 参考書

必要に応じて、資料を配布します。

### 7. 課題に対するフィードバックの方法

原則、授業時間中にフィードバックします。ただし、宿題などの課題は、0h-o!Meiji と教室でのフィードバックの両方を行います。各課題のフィードバック方法は、課題提出時に説明します。

### 8. 成績評価の方法

- インタビュー、スピーチ、ディスカッションの実践：60%
- 平常点（課題の提出、授業への取り組み）：40%

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

## 9. その他

- ・授業中は日本語で話してください。
- ・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ・この授業では、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN181J
科目名	日本語5 (文章表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

## 1. 授業の概要・到達目標

### 【概要】

中級レベルの学生が、大学で学ぶために必要な書く能力を身に付けます。授業では書く前にテーマについて話し合う時間を設け、意見をまとめ、構成を考えます。翌週に授業時間内で発表し、その内容について質問や感想を受けます。

### 【到達目標】

日本語でまとまった量（600～800字程度）の作文が書けるように練習します。意見文などの論理的な文章について、わかりやすい構成を考え、読む人が理解しやすい文章を書くのを目標にします。各テーマに合った文章の表現についても学びます。

## 2. 授業内容

- 第1回：イントロダクション 自己紹介文を書こう 発表
- 第2回：体験文1 「子どものころの私」
- 第3回：体験文1 口頭発表 フィードバック 課題
- 第4回：体験文2 「日本に来て大変だったこと」
- 第5回：体験文2 口頭発表 フィードバック 課題
- 第6回：情報文1 「日本のおすすめの場所」(または「明治大学から歩いて10分以内にあるおすすめ場所」)
- 第7回：情報文1 口頭発表 (プレゼンテーション) フィードバック 課題
- 第8回：情報文2 「おすすめの映画」
- 第9回：情報文2 口頭発表 フィードバック 課題
- 第10回：状況をもとにした意見文 「私の外国語学習方法」
- 第11回：状況をもとにした意見文 口頭発表 フィードバック 課題
- 第12回：テーマに沿った意見文 「世界の問題とその解決策」
- 第13回：テーマに沿った意見文 リライト
- 第14回：テーマに沿った意見文 口頭発表 フィードバック まとめ等

## 3. 履修上の注意

・この科目はプレースメントテストの結果、日本語5レベルにプレースされた人が履修できます

## 4. 準備学習 (予習・復習等) の内容

毎回のテーマに沿った文章を書いてください。直された作文は必ず見て、確認してください。発表した後は課題をしてください。

## 5. 教科書

プリント教材を配布します。

## 6. 参考書

必要に応じて資料を配布します。

## 7. 課題に対するフィードバックの方法

作文の課題を提出してください。間違えたところをハイライトします。文法、表記の間違いを直して再提出してください。

## 8. 成績評価の方法

作文提出 (70%)、平常点 (普段の授業での活動、宿題) (30%) により評価します。

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

## 9. その他

授業のスケジュールや内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。この授業では、「日本語 (総合)」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。



科目ナンバー	(JE) LAN181J
科目名	日本語6 (総合)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	3単位
授業数	週3回

## 1. 授業の概要・到達目標

### 【授業の概要】

この授業は、中級後半レベルの日本語を学ぶ学生を対象にしています。これまで学んできた文法や語彙を談話レベルで適切に使い、さらにより抽象度の高い語彙や表現を理解し、使い、日本語で新しい概念を理解し思考していくことを目指します。手の加えられていない生のエッセイや論説文、記事などを取り上げた『新・中級から上級への日本語』を使います。一般的・社会的な話題、自分の専門分野について、構成の整った、まとまりのある話や意見を自信を持って述べられるように取り組んでください。また、日本語学習にとどまらず、日本文化・社会、そして同じクラスの留学生の国や文化・社会を理解し、異なる意見を調整し、共に生きていくための力も養ってください。授業は日本語で行い、3人の教員が担当します。

### 【到達目標】

1. 自然な日本語で書かれた文章の内容や筆者の意見等を教師のサポートを受けて細部まで詳細に読み取ることができる。
2. 読んだ文章に対する自分の意見や考えを、まとまりのある、整った構成の談話で適切な文法や語彙を使って述べられる。
3. テーマに関わる文型・表現・語彙を学び、理解し、使うことができる。また、自分の語彙や文法の間違いを自分で直したり、適切に言い換えたりすることができる。

## 2. 授業内容

### 【授業の進め方(予定)】

第1回：イントロダクション(授業についての説明)

第2-6回：ユニット1「自己紹介と本当の自分」

第7-12回：ユニット4「ことばと文化」

第13回：復習

第14回：復習テスト(第1回)／クラス活動

第15-20回：ユニット6「働くということ」

第21-26回：ユニット7「日本語の多様性」

第27回：復習

第28回：復習テスト(第2回)／クラス活動

第29-34回：ユニット9「食の共同性」

第35-40回：ユニット10「笑いのちから」

第41回：復習

第42回：復習テスト(第3回)／クラス活動

◆授業の詳しいスケジュールは、第1回目のイントロダクションで説明します。

## 3. 履修上の注意

- ・この科目はプレースメントテストの結果、日本語6レベルにプレースされた人が履修できます。
- ・週3回の授業すべてに出席しなければなりません。

## 4. 準備学習(予習・復習等)の内容

◆効果的に学習を進めるために、予習復習を十分に行ってください。

◆予習：毎回30分～1時間 進行表を見て、学習内容のページの単語の意味や読み方を調べる。

重要表現、文法・語彙練習の説明と例文を読む。小テストの準備をする。

◆復習：毎回30分～1時間 その回に指示された宿題や文法プリントの記入。学習項目の整理。

◆教科書付属のWEB教材を活用し、自立的に学習を進めてください。

## 5. 教科書

◆『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』鎌田修他著, (The Japan Times)

978-4-7890-1462-5 3,520円(税込)

◆『新・中級から上級への日本語 ワークブック』鎌田修監修, (The Japan Times)

978-4-7890-1540-0 1,980円(税込)

## 6. 参考書

必要があれば、授業の時に紹介します。

## 7. 課題に対するフィードバックの方法

クイズ、宿題、テスト等のフィードバックは、実施方法によって、Oh-o!meiji上もしくは、授業中のフィードバックを行います。

## 8. 成績評価の方法

### ◆評価対象と割合

- ・復習テスト・取り組み課題(3回) 60%
- ・平常点(小テスト、課題の提出、授業への取り組み) 40%

◆この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

## 9. その他

◆授業では、日常的なコミュニケーション能力だけでなく、大学での勉学に必要な読解能力や語彙・表現能力などを重視します。

◆より高いレベルの日本語能力試験の受験・合格も目指しましょう。

◆授業のスケジュールおよび内容は、学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。

◆この授業では、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN181J
科目名	日本語6 (読解)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

## 1. 授業の概要・到達目標

### 【概要】

中級後半レベルの日本語を学ぶ学生を対象にしています。これまで学んできた文法や語彙だけでなく、より抽象度の高い語彙や表現を理解し、使い、日本語で新しい概念を理解し思考していくことを目指します。手の加えられていない生のエッセイや論説文、記事なども読んでいきます。また、日本語学習にとどまらず、日本文化・社会、そして同じクラスの留学生の国や文化・社会を理解し、異なる意見を調整し、共に生きていくための力も養ってください。

### 【到達目標】

- ・一般的な・社会的な話題について、言語のコントロールの少ない文章（エッセイ、論説文、記事、講義資料、学術資料等）を、教師のサポートを受けて細部まで読み取ることができる。（読解練習）
- ・スキミング、スキミングなど、読むための技術を使いながら、読むことができる。（速読練習）
- ・分析的に読んで、読んだ文章の内容について説明することができる。（読み物の発表）
- ・読んで理解したことを踏まえて自分の意見を述べ、話し合うことができる。（読んだ内容についてのディスカッション）

## 2. 授業内容

### 第1回：イントロダクション

### 第2回：速読練習①、読解練習①

### 第3回：速読練習②、読解練習②

### 第4回：速読練習③、読解練習③

### 第5回：速読練習④、読解練習④

### 第6回：中間試験、読み物の発表準備

### 第7回：速読練習⑤、読解練習⑤

### 第8回：読み物の発表①

### 第9回：読み物の発表②

### 第10回：読み物の発表③

### 第11回：速読練習⑥、読解練習⑥

### 第12回：速読練習⑦、読解練習⑦

### 第13回：速読練習⑧、読解練習⑧

### 第14回：a：期末試験、b：講義全体のふりかえりと試験の正答解説

◆授業の詳しいスケジュールは、第1回目のイントロダクションで説明します。

## 3. 履修上の注意

この科目はプレースメントテストの結果、日本語6レベルにプレースされた人が履修できます。

## 4. 準備学習（予習・復習等）の内容

読解練習は、事前に指定されたところを読んで問いに答えたいうえで授業に参加してください。わからない語彙や文法は調べておいてください。

## 5. 教科書

プリントで配布する教材を使用します。自分で配布物を保存するファイルを用意してください。

## 6. 参考書

『中・上級者のための速読の日本語 [第2版]』岡 まゆみ（ジャパンタイムズ出版）

## 7. 課題に対するフィードバックの方法

クイズ、宿題、テスト等のフィードバックは、実施方法によって、Oh-o!meiji上もしくは、授業中にフィードバックを行います。

## 8. 成績評価の方法

テスト60%、平常点（読み物の発表・小テスト・課題・クラス参加度）40%

◆この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

## 9. その他

- ・授業のスケジュールおよび内容は、学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ・この授業では、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目番号	(JE) LAN181J
科目名	日本語6 (口頭表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
<p><b>1. 授業の概要・到達目標</b></p> <p>【授業概要】 この授業では自分の関心のある身近な話題、また専門分野や社会的な話題をテーマに、ショートプレゼンテーションをします。発表の後はそれぞれの発表について学生同士で話し合いをします。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまりのある談話で、要点をおさえた発表をすることができる。</li> <li>・他者の発表について主体的に意見や考えをもち、それを話すことができる。</li> <li>・発表ややりとりをすることに自信がもてる。</li> </ul>	
<p><b>2. 授業内容</b></p> <p>【各回の実施内容】</p> <p>第1回：イントロダクション、テーマ1「スポット」準備  第2回：テーマ1「スポット」発表  第3回：テーマ2「もの」準備  第4回：テーマ2「もの」発表&amp;話し合い  第5回：テーマ3「アプリ・ソフト」準備  第6回：テーマ3「アプリ・ソフト」発表&amp;話し合い  第7回：テーマ4「カルチャー」準備  第8回：テーマ4「カルチャー」発表&amp;話し合い  第9回：テーマ5「専門・学術的関心」準備  第10回：テーマ5「専門・学術的関心」発表&amp;話し合い  第11回：テーマ6「日本社会」準備  第12回：テーマ6「日本社会」発表&amp;話し合い  第13回：テーマ7「留学生活」準備  第14回：テーマ7「留学生活」発表&amp;話し合い</p> <p>【1回の授業の流れ】 準備回 …教師によるモデルを見て、そこからことばや構成など、発表のポイントを学びます。 その後、それぞれ発表のトピックを考えた上で、発表の準備をします。</p> <p>発表&amp;話し合い回 …テーマについて一人ずつ発表します。発表を聞いている学生はコメントカードを記入します。 全員の発表が終わったら、コメントカードを基にグループで話し合いをします。</p>	
<p><b>3. 履修上の注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この科目はプレースメントテストの結果、日本語6レベルにプレースされた人が履修できます。</li> <li>・授業の主役は学生のみなさんです。積極的な参加をお願いします。</li> <li>・準備回を欠席した時は、LMS「oh-o! Meiji」より該当するテーマのハンドアウトを取得し、次回までに発表の準備をしてください。</li> </ul>	
<p><b>4. 準備学習（予習・復習等）の内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内に発表の準備が終わらなかったら、次回までの宿題とします。</li> </ul>	
<p><b>5. 教科書</b></p> <p>教科書は使いません。授業でハンドアウトを配ります。</p>	
<p><b>6. 参考書</b></p> <p>なし</p>	
<p><b>7. 課題に対するフィードバックの方法</b></p> <p>発表ごとにLMS「Oh-o! Meiji」上でコメントをします。</p>	

## 8. 成績評価の方法

評価項目と割合は以下の通りです。

### ○発表回数 (50%)

…発表をした回数から算出します。 ※発表の際は必ずスクリプトを提出

### ○発表内容 (50%)

…主に以下A～Dの要素から評価し、最終的に全発表の平均から算出します。

#### A. 内容

#### B. 構成・流れ

#### C. ことば

#### D. 周辺情報 (表情、目線、姿勢など)

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

## 9. その他

・期の後半にビジター (日本人大学生) セッションを予定しています。

・授業のスケジュールや内容、発表形式は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。

・この授業では、「日本語 (総合)」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN181J
科目名	日本語6 (文章表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
<b>1. 授業の概要・到達目標</b> いくつかのトピックについて、クラス、またはグループでのディスカッションで意見を発表し、他の学生の意見も聞いてから400字から600字程度の作文にまとめます。 作文を次の授業で返却する時には、改善したほうが良い表現について学生自身で、またはクラスで検討します。 作文はOh-o!Meijiのクラスウェブに提出してもらいます。 また、学期前半で扱ったトピックの中から一つを選び、800~1000字の小論文にまとめ、期末課題として提出します。 資料の引用の方法についても学びます。 【到達目標】 1. 800~1000字程度の論理的な文章が書けるようになる。 2. 読み手が理解しやすい文章が書けるようになる。	
<b>2. 授業内容</b> 第1週：ガイダンス・短い作文 第2週：文体・表記：書き方の基本 第3週：作文 第4週：作文 第5週：作文 第6週：作文 第7週：間違いやすい文法項目の学習 第8週：作文 第9週：作文 第10週：引用の書き方・期末課題のトピックを選ぶ 第11週：作文 第12週：作文 第13週：期末課題提出・全体をチェックする 第14週：期末課題返却・まとめ	
<b>3. 履修上の注意</b> ・作文の前にはクラス内で意見交換を行うため、積極的な参加を期待します。 ・この科目はプレースメントテストの結果、日本語6レベルにプレースされた人が履修できます。	
<b>4. 準備学習（予習・復習等）の内容</b> 必要に応じて間違った部分の修正などを授業後に行ってもらいます（30分〜）。	
<b>5. 教科書</b> 教師作成資料を配布します。	
<b>6. 参考書</b> 特になし	
<b>7. 課題に対するフィードバックの方法</b> 作文・期末課題へのコメントをフィードバックとします。コメントはOh-o!meiji上で行います。	
<b>8. 成績評価の方法</b> 作文：80% 期末課題：20% ※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。	
<b>9. その他</b> ・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。 ・この授業では、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。	